

常任委員会の審査報告

総務市民常任委員会

一般会計補正予算及び国民健康保険特別会計補正予算について

○令和4年度二本松市一般会計補正予算

〔問〕歳入について固定資産税が増額補正された主な理由は。

〔答〕増額となった主な理由は新築住宅及び新設の償却資産における税額が見込みより増額となったこと、また償却資産の課税免除の対象となるものが見込みより少なかったことである。

〔問〕名目津温泉管理運営経費及び道の駅管理経費について各施設の電気料等の負担が増加し、それに伴い指定管理業務委託料を増額補正するとのことだが、その原因と補正額の根拠は。

〔答〕原油価格の高騰により電力会社の料金が改定される等、物価上昇に伴う各種価格の見直しが続いている。そのため、令和3年度の電気使用量等の実績を基に、今年度の物価上昇を踏まえた必要見込額を算出し、その差額相当分を補正予算として計上した。

○令和4年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算

〔問〕医療用機械器具購入費について、購入予定のコロナウイルス検査に使用する遺伝子增幅装置は、どのような機器なのか。

〔答〕現在は、診療所内において抗原検査を行っているが、遺伝子增幅装置は抗原検査よりも精度が高く、導入することにより検査体制を充実させることができとなる。

〔意見〕コロナウイルス検査機器の導入については、最近、コロナの罹患者が増加しているので1日も早く設置して対応して欲しい。



机上審査の様子

産業建設常任委員会

指定管理者の指定について、一般会計補正予算について

○二本松市スカイピアあだたら温泉保養館の指定管理者の指定について及び二本松市スカイピアあだたらアクティブパークの指定管理者の指定について

〔問〕アクティブパークを切り離し、それぞれの指定管理者を指定することで、指定管理業務委託料はどう変わることか。また、仮に指定管理者が赤字決算となった場合でも、市からの補填は無いものと考えて良いのか。

〔答〕アクティブパークの指定管理業務委託料については、これまで1,000万円計上していたが、670万円とし、削減を図ったところである。仮に赤字決算となった場合は、原則として、市からは補填しない考えであるが、物価高騰等による場合には、協議により決定するものである。



机上審査の様子

○令和4年度二本松市一般会計補正予算

〔問〕水田農業改革支援事業について、対象面積及び対象戸数は。また、収入保険及びナラシ対策の加入者を対象としない理由と、その面積は。

〔答〕対象面積は795.9ha、1,975戸を対象としている。収入保険は青色申告者、ナラシ対策は認定農業者や集落営農組織であることが加入条件であること、また、今年度の米価でそれぞれの支援額を試算したところ、10a当たり、収入保険で約10,100円、ナラシ対策で約13,700円の支援が受けられる状況を踏まえ、そのいずれの支援も受けることができない方に対して市独自に支援するとしたものである。なお、収入保険の加入面積は199.1ha、ナラシ対策の加入面積は404.3ha、合計604.3haである。

〔意見〕道路等維持管理経費について、道路の破損等は人命に関わる事故にも繋がりかねないため、市民の安全確保のためにも、十分な予算を確保のうえ、破損箇所等が発見された際には早急に修繕すべきである。

12月12日に付託された各議案は、12月14日及び15日に各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日20日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

文教福祉常任委員会

二本松市城山市民プールの指定管理者の指定について、一般会計補正予算について

○二本松市城山市民プールの指定管理者の指定について

〔問〕 新たに指定する指定管理者は、どのような事業に取り組む予定か。

〔答〕 施設の利用促進として、キッズコーナーの充実やエアロバイク、卓球台の設置等の提案があった。

〔意見〕 新しい指定管理者が提案してきた内容は非常に評価できるものであり、ぜひ実現してもらいたい。

○令和4年度二本松市一般会計補正予算

〔問〕 保育所費の一般管理経費について、ほんまつ保育園の空調システムは、交換ではなく修繕で対応できないのか。また、その完了時期の見込みは。

〔答〕 現在の空調システムはアイルランド製のもので、そのメーカーが既に日本から事業撤退しており、部材もなく修繕もままならない状況のため、日本製のものに交換するものである。空調が必要となる令和5年度の夏前には交換が完了する見込みである。

〔意見〕 機器を選定する際には、内容を十分に精査するべきである。

〔問〕 中学校費の設備備品の整備充実経費について、東和中学校のＩＳＤＮ電話システムを、ＩＰ電話に切り替える考えはなかったのか。

〔答〕 ＩＰ電話への切替えについては、今後検討が必要な課題と考える。

〔意見〕 インターネット環境が整っているので、今後は、通話料金を抑えられるＩＰ電話に交換することも検討してもらいたい。



机上審査の様子

決算審査特別委員会

議案などを専門的、合理的、能率的に審査する常設の常任委員会のほかに、特定事件を審査するために特別委員会を設置することができます。

12月定例会では、令和元年度から令和3年度までの下水道事業会計決算の再認定について審査するため、決算審査特別委員会を設置しました。

12月19日に、全体会で机上の総括審査・質疑が行われました。

